

平成31年1月24日(木)～25日(金)



大分県豊後大野市視察風景

南島原市議会に於いては、これまでも議員定数の削減や議会議員政治倫理条例の制定、開かれた議会の実現に向けても、本会議に於けるインターネット中継やFM放送など議会改革に向けて積極的に取り組んでまいりましたが、これからも、より開かれた議会の実現に向け、より一層の、議会改革を積極的に推進していくかねばなりません。

そこで、今回の行政視察では、議会で決定した事の報告や、市民の皆様からのご意見やご質問を伺う場としての「議会報告会」など議会活性化に積極的に取り組む実施されている大分県「豊後大野市議会」と「中津市議会」を訪問し、各種取り組みの導入に至る経緯や具体的な実施方法、今後の課題等について研修し、認識を深めることを目的に視察を行いました。

「豊後大野市議会」では、平成24年10月に議会基本条例を制定され、その条例に基づき、議会での議案審査や議論の経過や結果などを報告し、市政全般にわたり、市民と自由に意見交換を行う場として平成25年8月から「議会報告会」を開催され、これまで七回開催されており、報告会は、市民と直に接する貴重な広報・広聴活動の一環なので今後も継続して開催していきたいとの事でした。

「中津市議会」に於いては、平成23年から「議会報告会」を開催されており、他にも議員同士が与えられたテーマに対してお互い意見を述べ合い、テーマに沿った議論を本会議場で全議員で議論する「自由討議」に現在取り組んでいるとのことでした。



大分県中津市議会議場

今回お世話になった南島原市議会に於いては、議会改革・議会活性化に向けて積極的に取り組んでおられ、取り組み状況や問題点・課題等について、それぞれ活発な意見交換ができ、有意義な視察となりました。

今回の視察を活かし私たち南島原市議会に於いても「議会報告会」と「開かれた議会」と「議会の活性化」に繋がるよう前向きに検討し更なる議会改革に取り組んでいかねばならないと思います。

平成31年1月30日(水)～31日(木)

議会のつくりかた

1月30日
◎宮崎県日向市
研修先：日向市役所

日向市議会広報特別委員会からの説明

「治田委員長」

議会広報特別委員会設置が平成24年6月。それ以前は議会運営委員会が議会、だより編集委員会として議会、だよりを編集し、全ての作業を事務局に任せていた。

特別委員会を設置したが、編集ソフトを使いこなせる委員がおらず、書記任せが続いていた。

平成28年4月書記が異動。これを機に、紙媒体、紙面割り付けによる編集に移行。

平成29年度印刷業務発注で、プロポーザル方式を採用。議会事務局と委員会会で審査会を設置し、業者を選定。

デザインレイアウト、メッセージ性を重視。デザインレイアウトの骨格

を業者に提案してもらい、紙面の割り付けを決定。見出し等を含め、テキスト化した原稿をそれぞれの枠内に流し込む現在の形がスタート。

心がけていることは、デザインを重視し、文字数をできるだけ減らし、伝えたい情報を簡潔に文章作成すること。簡潔な文章と詳しい文章のどちらがよいかは今でも議論になっている。

ピクトグラムを使用し、専門用語をなるべく使わず、市民の方に理解してもらえ文章や言葉を作るだけ使っている。

一般質問の掲載は、現在2ページを3名でレイアウト。

委員会の開催回数は、発足時は、年間約10回程度。現在は、年間約30回程度の委員会を開催。

「富井副委員長」

市民の皆さんに見てもらおう、まず手に取ってもらうために、陽だまりというタイトルを市民公募

で決定。写真は基本的に子どもをメイン。議会用語には、下に注釈。一般質問は、QRコードで動画を見られる。

この後、質疑応答に入り、1時間以上にわたり、広報編集のみならず、議会活動についても活発なやりとりを行った。今後へ活かせる非常に有用な研修であった。

最後に、日向市議会副議長の挨拶を始め、広報編集委員全員が出席され、丁寧な対応をしていた。いただいた事に対し、心より謝意を表す。



日向市役所研修の様子

◎宮崎県宮崎市
視察先：宮崎県総合博物館

1月31日

◎宮崎県えびの市
視察先：えびのエコミュージアムセンター、えびの市歴史民俗資料館